

2022年8月24日

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20
ディーアイシービル

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

D I C株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）と、農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本ローン」）を締結しましたのでお知らせします。当社が農林中央金庫から SLL 対応を受けるのは、本ローンが 2022 年 6 月に続く 2 回目の対応となります。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、貸付条件を SPT の達成状況に連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促進するとともに、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長支援を目指すものです。

当社は、環境問題をはじめとするサステナビリティを重要な経営課題と位置付けており、脱炭素に貢献する製品・サービスの拡大によって、市場および社会における CO₂排出削減への寄与に向け積極的に取り組んでいます。2021 年 6 月に公表した「DIC NET ZERO 2050」および 2022 年 2 月に公表した長期経営計画「DIC Vision 2030」においては、2050 年度のカーボンネットゼロへ向けた CO₂ 排出量の長期削減目標として「2030 年度 50%削減（2013 年度比）」の実現を掲げており、脱炭素社会の実現への貢献を明確にしています。

また、農林中央金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。2021 年 5 月に公表した中長期目標において、2030 年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を掲げるなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、当社のサステナビリティ戦略にかかる理念にも共感いただいています。引き続き、本ローン対応を通じて、CO₂排出量削減をはじめとした当社による気候変動問題の解決に資する取組みを支援いただくこととなりました。

当社は、サステナビリティ活動を推進するうえで、従前マテリアリティ（最重要課題）として特定していた「気候変動への対応」を、上記 DIC レポート 2022 において、「カーボンニュートラル社会の実現」として特定し直し、「2030 年度までに CO₂排出量を 50%削減（Scope1 & 2、2013 年度比）」する目標に向けた取組みを進めていることを踏まえ、本ローンでは、この目標を SPT に設定しました。

なお、本ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則等への適合性について、株式会社日本格付研究所より第三者

意見を取得しており、上記 SPT については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されています。

【本ローンの概要】

- 実行日： 2022年8月24日
- 融資期間： 10年
- 資金使途： 長期運転資金

【本ローンが貢献する主な SDGs】



当社は、本件の契約締結後も、様々なテーマを通じて世界的な取組みである SDGs 目標の達成に貢献し、D I C ならではの「ユニークで社会から信頼されるグローバル企業」として発展してまいります。

以上

<関連情報>

- 株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見
(<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)
- DIC ウェブサイト サステナビリティ
(<https://www.dic-global.com/ja/csr/>)
- 長期経営計画「DIC Vision 2030」
(<https://www.dic-global.com/ja/ir/management/plan.html>)